

北九州市 児童福祉施設等

第三者評価 結果票

若松コスモス保育所

1 施設・事業所の概要

- | | | |
|-----|-----------|-------------------|
| (1) | 事業者名（法人名） | 北九州市立若松コスモス保育所 |
| (2) | 事業所名 | 北九州市 |
| (3) | 設立年月日 | 平成 9年 4月 1日 |
| (4) | 定員 | 130名 |
| (5) | 所在地 | 北九州市若松区浜町2丁目10-13 |
| (6) | 電話番号 | 093-761-5611 |

2 評価実施日

令和 7年 8月 8日

3 評価実施者

北九州市（北九州市児童福祉施設等第三者評価委員会）

4 評価結果

総合評価

閑静な住宅街にあり、近隣には自然が親しめる場所が多く、子どもの感性豊かな育ちにふさわしい環境が整っています。駐車スペースは十分ありますが、現在隣の施設の解体作業が行われ、大型車は切り返しての駐車がしばらくようです。しかし、保護者はルールを守り譲り合い駐車されています。障害児保育に積極的に取り組む、0歳児の一時保育を受け入れるなど、保護者に寄り添い、ニーズに応えた保育が行われています。

I 子どもの発達援助

全体的な計画は保育所保育指針に基づいて作成され、わらべうたや絵本など独自の計画が組み込まれています。指導計画は年齢ごとに作成され、全体的な計画をベースにして指導計画が作成され具体化されています。ノンコンタクトタイムを活用し記録等の整備を行っています。

健康管理については定期健康診断以外にも嘱託医と連携を取り、保護者には感染症や健康に関する情報を掲示や文書で提供しています。食事については子どもたちと一緒に季節の野菜を栽培収穫、食べるまでを給食室と連携し食育に取り組んでいます。アレルギー疾患をもつ子どもには食器の色を変えるなど、人的ミスを起こさない工夫がされ提供されています。

季節の野菜を栽培する、小動物など各クラスで飼育するなど、命あるものを大切にする心を育てています。保育士は子どもたちにプラスの言葉で肯定的な言葉で応答し、子どもの意見を受け止めこどもを尊重した保育が行われています。日頃から絵本の取組が積極的に行われ、図書館を活用しています。保護者にも絵本に興味をもち子どもと共感できるよう働きかけしています。保育室からわらべうたが聞こえ、楽しみながら待つ工夫がされています。保育士は固定的観念や性差に捉われることなく、一人一人の子どもの個性を大切にし、対応がされています。障害児一人一人の個別の計画や記録が整備され、必要に応じて関係機関とも連携しています。障害児保育に積極的に取り組み、研修に参加し研修報告や実践的取組にいかされています。

II 子育て支援

保護者に対して懇談会を開催しており、日常における保護者からの意見は直接、または意見箱を置き対応しています。虐待への対応は、子ども総合センター・子ども・家庭相談コーナーと連携を図っています。

また、保育所を開放する取組とともに、育児講座、講演会等を定期的で開催しています。一時保育においては、地域のニーズに応じ保育所としての役割を適切に果たしています。

III 地域の住民や関係機関等との連携

施設長のリーダーシップの下、地域のニーズに寄り添い、必要な情報提供を適切に行っており、掲示板も用いながら周知しています。保幼小連携については、担当者を中心に、近隣の保育所、小学校と積極的に連携を取っており、行事への参加、職員同士の連携も行われています。

近隣住民との関係は良好であり、所内での行事については、安全対策が行える範囲内で積極的に行っています。

保育実習、保育体験等では、それぞれの実習に応じたマニュアルが作成されており、担当者がそれに基づき説明、実施するよう計画されています。

IV 運営管理

市の方針に従い適切に明文化され、保育士、保護者等へ周知されています。中・長期計画も同様に市の方針に従い策定されています。また、施設長の責任の下、保育の質向上のために保育士等の自己評価を基に職員からの提案、意見を収集し、改善策を提案するとともに実施しています。職員研修についても、市の研修体系を利用し、保育士等の希望も考慮し、適切に研修実施されています。

情報管理、守秘義務遵守について、市の就業規則に基づき、倫理規定、マニュアルが作成され、適切に行われています。事故や災害に関する対応マニュアルを作成し、事故防止や安全管理に関する取組を実施しています。

評価対象ごとの評価（概要）

I 子どもの発達援助

一人一人の子どもの状況に配慮した保育が展開されているか、保育にふさわしい環境が整っているかなどを評価したものです。

| 評価対象 | 評価結果 |
|-----------|---|
| 発達援助の基本 | <p>計画・記録 全体的な計画は直営保育所共通で保育所保育指針に基づいて作成され、わらべうたや絵本など独自の計画が組み込まれています。 保育の記録はノンコンタクトタイムが1週間の中で公平にとれるよう工夫され、継続的に記録され保管されています。</p> <p>会議 職員会議で子どもの様子など必要な情報が周知されています。年3回ケース会議を行い、検討し保育に反映しています。必要に応じて保護者とも情報交換しながら連携が図られています。</p> |
| 健康管理・食事 | <p>健康管理 嘱託医との連携がとれており、乳幼児健康診査、予防接種の漏れがない様に記録され、保護者に健康に関する情報提供がされています。3歳以上児の弁当（主食）は冷房の効いた休憩室で保管し管理されています。水分補給についてはお茶タイム以外でも随時補給できています。保育中の怪我で受診が必要と思われるときはマニュアルに沿って行われ、保護者対応も適切になされています。</p> <p>感染症 感染症マニュアルを作成し、流行前に発生した時の実践訓練を行っています。感染症が流行し始めた時には嘱託医と連携を取り情報を入手しています。また、感染症が出た時には発生状況を保護者に知らせています。</p> <p>食事 子どもが夏野菜の栽培収穫を行いその場で名前、収穫した個数を確認し給食室に届け、食育に取り組んでいます。楽しみに待ち、その日のうちにおやつで提供し、子どもに期待感を持たせる配慮もあります。アレルギー疾患を持つ子どもについては毎月献立表の確認を四者（保護者・調理員・所長・担任）で行い、配膳は色付き専用トレイに除去食材を明記したネームプレートを乗せ、専用食器で提供しています。安全に配慮しながら、除去食の子どもにもおかわりが準備され提供されています。</p> |
| 保育環境・保育内容 | <p>保育環境 季節に係るものや小動物など各クラスで栽培、飼育されています。送迎箇所には絵本と共に紹介文があり、親子で興味が持てるように工夫されています。保育士は声の大きさに配慮し、一人一人に届く穏やかな言葉がけがされています。</p> <p>保育内容 近くの図書館を活用して、ボランティアの方に絵本を読んでもらう、触れたことのない絵本を見るなど公共機関で過ごす体験をしています。保育士の言葉がけが穏やかで安心して一人一人が自分の遊びを楽しめるよう必要なものが用意され、発達に応じた対応がなされています。乳児保育は子どもが興味をもち「できた」の体験ができ、保育士が認めることで遊びが楽しくなる工夫をしています。</p> <p>人権・性差 着替えをするときに男女で別れるだけでなく、子どもの意見を尊重し一人用のスペースを用意しています。定期的に人権チェックリストをつけることで決めつけや思い込みがない様に保育を振り返り意識する機会を設けています。</p> <p>延長保育・障害児保育 延長保育は子どもの状況について職員間で引継ぎが行われ、保護者への伝達がされています。 障害児保育については記録が整備され、必要に応じて関係機関と連携しています。直営保育所独自の「発達障害児支援研修」が行われ積極的な取組があり、研修報告や実践的取組がいかされています。</p> |

Ⅱ 子育て支援

子育てに関する保育所と保護者との相互理解や、地域における子育て支援の取組等を評価したものです。

| 評価対象 | 評価結果 |
|---------------|---|
| 入所児童の保護者の育育支援 | 保護者との関係・虐待 全クラス、全家庭に対して懇談会を開催しており、日常における保護者からの意見は直接、または意見箱を置き対応しています。 子ども総合センター、子ども・家庭相談コーナー等と連携を図っています。 日常的に視診を行い、子どもの状況を把握しています |
| 地域の子育て支援 | 地域支援・一時保育 可能な範囲で常に保育所を開放しています。加えて、育児講座、講演会等を定期的で開催しています。 一時保育の趣旨を全職員が理解するように職員会議等で周知しています。また保育所として一時保育における役割を適切に果たしています。 |

Ⅲ 地域住民や関係機関等との連携

地域の最も身近な児童福祉施設としての役割を果たしているか、関係機関等との連携を図っているかなどを評価したものです。

| | |
|-------------------|---|
| 地域の住民や関係機関・団体との連携 | 地域での役割・その他機関との連携 施設長のリーダーシップの下、地域のニーズに寄り添い、必要な情報提供を適切に行っており、掲示板も用いながら周知しています。 保幼小連携担当者を中心に、近隣の保育所、小学校と積極的に連携を取っています。行事への参加はもちろん、保育士、小学校教員との職員同士の連携も行われています。 近隣住民との関係は良好であり、住民の参加は安全対策が行える範囲内で積極的に行っています。また行事についても事前に住民に伝達することができています。 |
| 実習・ボランティア | 実習等の受入 保育実習、保育体験等、それぞれの実習に応じたマニュアルが作成されており、担当者がそれに基づき説明するよう計画されています。また担当者含め、施設長、保育士は必要な研修を受けており、積極的に実習、ボランティアを受け入れています。 |

Ⅳ 運営管理

保育に関する基本方針等が策定されているか、職員研修等の取組がなされているかなど、組織としての運営管理を評価したものです。

| | |
|----------------------------|---|
| 組織運営 基本方針 | 理念・方針 市の方針に従い、適切に明文化され、保育士、保護者等へ周知されています。また市の方針に従い中・長期計画も策定されています。 保育の質の向上・研修 施設長の責任の下、保育の質向上のために保育士等の自己評価を基に職員からの提案、意見を収集しています。 市の研修体系を利用し、保育士等の希望も考慮し、適切に研修に参加する体制が取れています。研修記録も適切に管理されており、研修後には研修内容の共有も行われています。 |
| 安全・衛生管理 守秘義務の遵守 情報提供 | 守秘義務・情報・安全 市の就業規則に基づき、倫理規定、マニュアルが作成され、情報管理、守秘義務遵守について適切に行われています。 保護者には掲示板等も活用し、分かりやすく情報提供を実施しています。地域に向けても所外の掲示板を利用し、積極的に行っています。 事故や災害に関する対応マニュアルを作成し、事故防止や安全管理に関する取組を実施しています。 |

